

事務事業評価票

所管部長等名	教育部長 北岡 博
所管課・係名	教育総務課 学校給食係
課長名	和久田 敬史

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	学校給食施設の管理運営・整備	「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名	学校給食施設整備事業
会計区分	一般会計		
予算の事業名	学校給食施設管理運営費(単独調理校)	学校給食施設管理運営費(給食センター)	
事業コード(大-中-小)	41 - 01 - 32	41 - 01 - 33	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	郷土を拓く人を育むまち	
	施策の大綱(節)【政策】	①八代の未来を担うひとづくり	
	施策の展開(項)【施策】	①「生きる力」を身につけた子どもの育成	
	具体的な施策と内容	(3)教育環境の整備・充実	
根拠法令、要綱等	学校給食法		
実施手法 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 義務である <input type="radio"/> 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度 未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を) 市立小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園の児童生徒等 (学校給食実施数:10,989人※H23.10.1現在)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 学校給食の実施に必要な施設設備の整備・充実を図ることにより、児童生徒の個々の健康状態等に配慮した安心・安全な学校給食を確実に提供することができる。
	内容 (手段、手法等)	学校給食施設の工事、修繕、備品購入 (学校給食施設数:給食センター6施設、単独調理校9校) 麦島学校給食センター(S58) 千丁学校給食センター(H13) 鏡小(S54) 泉第八小(S60) 南部学校給食センター(S61) 東陽学校給食センター(H12) 鏡西部小(S55) 坂本中(H17) 西部学校給食センター(H2) 代陽小(S37) 有佐小(S56) 鏡中(H12) 中部学校給食センター(H6) 八竜小(H14) 文政小(S57)	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	学校給食法第4条の規定により、義務教育諸学校の設置者(市)は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるように努めなければならないとされている。その実施基準や衛生管理基準が強化されたことにより、食物アレルギーのある児童生徒等への個別対応や安全で衛生的な施設設備への改善が求められている。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	54,549	58,606	51,707	57,200	56,700	57,200	
	事業費(直接経費)	千円	39,849	43,906	37,007	42,500	42,000	42,500	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
	一般財源	千円							
概算人件費(正規職員)	千円	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700		
正規職員	従事者数	人	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	
	臨時職員等従事者数	人							

成果指標 (もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①	施設設備の不良による給食停止回数	学校給食は、学校教育活動に不可欠なものであり、食育推進上「生きた教材」として活用されていることから、施設設備の故障により学校給食の提供ができない事態を招くことのないよう努めなければならないため指標として設定した。	回	0	0	0	0	0
②	衛生管理の不備による給食停止回数	学校給食は、学校教育活動に不可欠なものであり、食育推進上「生きた教材」として活用されていることから、食中毒の発生等により学校給食の提供ができない事態を招くことのないよう努めなければならないため指標として設定した。	回	0	0	0	0	0	0
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A A A (現状分析等) 「生きる力」を育む食育を推進していく上で、学校給食は重要な役割 を担っており、学校給食を適切に実施するための環境整備をさらに 進める必要がある。また、施設整備の故障や食中毒等が発生した場 合、学校給食の提供に多大な影響を及ぼす恐れがあるため、未然 に防止する観点からも本事業を実施する妥当性は高い。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A A (現状分析等) 突発的な故障等に対してはその都度対応しており、給食を停止する 事態には至っていない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A A (現状分析等) 学校給食法第11条の規定により、学校給食の実施に必要な施設設 備に要する経費及び修繕費については、設置者(市)の負担とされて おり、受益者負担を求めることはできない。また、老朽化した施設や 耐用年数以上の機械設備が多く、需要の増加が見込まれるため、 事業費削減の余地はない。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 学校給食の施設設備については、設置者(市)が直接責任をもって整備すべきものであること から、現行どおり継続する必要がある。																					
	<p align="center">今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果</p> 今後は、経常的な修繕を継続するとともに、年次計画に基づいた大規模な整備・更新を実 施し、学校給食の安定的な提供体制を維持していく。 また、施設設備の整備を進めるにあたっては、①文部科学省が定める学校給食衛生管理 基準に沿った施設設備の拡充、②児童生徒数の減少や施設運営の合理化を考慮した学 校給食施設の再編及び改築の検討、③食物アレルギー等個々の児童生徒の状況に応じ た可能な限りの対応に努めるものとする。																						
改革改善内容	<p align="center">改革改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td align="center">○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			○	低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			○																			
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度	
---------	---	------	--

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------